

令和3年度第1回羽島市社会教育推進審議会（会議要旨）

日 時	令和3年5月7日（金）午後1時30分～午後2時30分
場 所	羽島市教育センター2階 研修室
出席者	<p>（社会教育委員）出席者7人（欠席者1人）</p> <p>松尾東彦 委員（子ども会育成協議会代表）</p> <p>白木幸子 委員（女性団体代表）</p> <p>森 正智 委員（文化協会代表）</p> <p>鈴木登司雄 委員（コミュニティセンター館長会代表）</p> <p>小森博昭 委員（スポーツ推進会議代表）</p> <p>高砂房子 委員（学識経験者）</p> <p>池谷幸樹 委員（学識経験者）</p> <p>（事務局）</p> <p>森嘉長 教育長 加藤光彦 事務局長 今井田明弘 生涯学習課長</p> <p>箕浦勝博 スポーツ推進課長 番 重宗 図書館長</p> <p>木山鉄兵 生涯学習課係長 阿部悠助 同課主事</p>
内 容	<p>1 委嘱書交付</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>昨年度は羽島市生涯学習都市づくり5ヶ年計画や教育大綱がスタートする年であったが、コロナ禍により計画の実施推進に支障をきたしている。</p> <p>今年度も依然としてコロナとともにある生活が続いており、羽島市では昨日までに162名の方の罹患があり、岐阜県もまん延防止等重点措置区域の指定を受けたところである。</p> <p>このような中、委員の方々にはそれぞれの立場において様々なイベントや会議を中止、もしくは縮小を余儀なくされる中で、ご尽力いただき感謝を申し上げます。</p> <p>さて、先日聖火リレーでランナーを務められた恩田聖敬氏が松井市長と面談された際、スポーツはみんなの心を一つにする力があるという言葉が申し上げられた。</p> <p>私も同様に文化や芸術、あるいは地域における青少年の健全育成も一体感や連帯感を育む場であると考えている。</p> <p>コロナと共にある新しい生活様式の中でも、文化活動やスポーツ活動、社会活動は、人々の生活に潤いを与えることから、本日は委員の方々にご審議いただくことをお願いしたい。</p>

3 議事

(1) 委員長・副委員長の選出について
事務局案を踏まえ、以下の通り選出。

- ・委員長：松尾東彦 委員
- ・副委員長：高砂房子 委員
- ・副委員長：小森博昭 委員

委員長あいさつ

新聞報道でも羽島市はコロナ罹患者が少ないとされ、それだけ市内の皆様にご気を付けていただいているのはありがたいことである。

いつ収束するかわからないコロナ禍の中でそれぞれお互いに注意しながら乗り切っていきたい。

(2) 協議事項

ア 各種委員の選出について
事務局案を踏まえ、以下の通り選出。

- ・岐阜県社会教育委員連絡協議会評議員：松尾東彦 委員
- ・岐阜地区社会教育振興協議会委員：白木幸子 委員
- ・市生涯学習都市推進会議委員：鈴木登司雄 委員
- ・市歴史民俗資料館運営協議会委員：森正智 委員
- ・わたしの主張2021羽島市大会審査員：高砂房子 委員

イ 社会教育関係団体への補助金交付について

- ・資料に基づき事務局から各団体への補助金内容の説明

(委員) コロナ禍の中で生涯学習課の事業が中止や延期になり、補助金も減っていていることは財政困難な面からしても致し方ないことだと思う。

しかし、コロナが収束し、事業が活発化したら所要額の獲得に努めてほしい。

(委員) コロナで行事が中止になっているが、コロナ禍が明けて事業が活発になれば適切な措置をお願いしたい。

(事務局) コロナ禍において、従来の方式であればどうしても行事の中止や延期は避けられず、現状の方式とは異なる方式に変更することが必要である。

そのため、今後は ICT のような機器を駆使した方式へ変更するなど、現状だけでなくコロナ禍後のことも見据えた上で、行事の開催について検討していただきたい。

(委員) 岐阜天文台について、今回天文教室が開かれるということで、興味を持つ方が多く出ると期待している。

(委員) コロナの影響で学校でも部活動が中止となり、運動不足となっている今、市がスポーツイベントを主催してくれることは市民としてありがたい。

(委員) 話を聞く限り、羽島市はイベントをケースバイケースによって実行できる範囲で開催し、危険と判断したら中止するなど、気を付けながら推進している。その点はありがたく思う。

(委員) 若獅子駅伝について、当初から補助金はあったか。

(事務局) 若獅子駅伝は第 25 回までライオンズクラブが主催となって運営していた。第 26 回から実行委員会形式となり、その中で羽島市やスポーツ協会などの関係団体の協力のもと、運営をしている。

(委員) 私からの意見ではないが、コミュニティセンターでは生涯学習を広く扱っており、コロナ禍の現状では企画の立案に苦勞していると聞いている。

ウ 各課・館の「事業計画」について

生涯学習課(中央公民館を含む)・スポーツ推進課・図書館
・資料に基づき事務局から事業計画の説明

(委員) 放課後子ども教室では地域の方をお願いして、話を聞かせてもらったり、様々な体験をさせてもらったりすることを主にしてもらおうとよい。

(事務局) 放課後子ども教室は年に 10 回ほど行っている事業であり、その内容は万華鏡を作ったり、地域の方に来ていただいたりするなどしてプログラムを組んでいる。

(委員) 放課後子ども教室は文部科学省が行っている事業である。国の事業であるため、実施する内容については今後も留意していただきたい。

(委員) 図書館ではコロナ禍のために様々な事業が中止になった。人が集まることの危険性は分かっており、難しいと思うが、それでも何かできることを検討してほしい。

例えば幼稚園ではなるべく行事を中止にしないよう

にするため、時間帯で人数を分散して、順番に園児たちに来てもらっている。その方法は活かさないだろうか。

(委員) 事業に関しては感染の危険性に留意し、担当部署に検討していただきたい。

ところで、岐阜市においては全小中学校にタブレットを配布したと聞いているが、羽島市でも学校にタブレットを配布するといったことは検討しているのか。

(事務局) 羽島市も同様にタブレットを配布している。ただし、岐阜市については自宅まで持ち帰ることを想定した仕様になっているのに対し、羽島市は自宅に持ち帰らずに学校で使うというルールのもと、一人に一台配布している。

ただ、大人より子どものほうが機器に卓越している部分があり、学校側がプロテクトをかけても、それを回避する知識や技能を持っていることもある。

もちろんこれらは負の面ではあるが、一方では大人顔負けのプレゼンテーションを子どもが披露したり、学習効果を上げたりしている面もあるため、モラルに留意して指導に当たっているところである。

4 その他

令和3年度 社会教育推進審議会、及び各種研修会等について
・事務局より審議会及び各種研修会等の日時・会場等を資料に基づき説明

閉会のあいさつ

今年度についても、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、各事業を実施していくことになるが、委員の方々においても、ご意見を賜るとともに、今後とも社会教育の推進にご理解、ご協力をお願いする。